

II 具体的実施事項

1. 農業電化推進コンクールの実施

わが国農業の発展の根幹となる科学化農業の確立を目指して、意欲的に農業電化による経営や技術の改善に取り組み、農業電化の普及奨励等を通じ地域社会の発展に貢献している農業者および農業団体を表彰し、その成果を広く紹介して農業電化の一層の推進に資する。 (実施予定 10 月～)

2. 調査研究活動

第 55 回農業電化研究会の開催

農林水産業における新技術の普及奨励等を目的とし、農林水産省ならびに経済産業省のご支援および会員企業・団体の協力のもとに農業電化研究会を開催し、各地区からの研究発表を実施する。 (予定：11月21日・場所：東京ビッグサイト)

3. 普及活動

(1) 会勢の維持拡大をはかるため、より魅力ある活動の展開を図る。

・「第 3 回農業電化シンポジウム」の開催

(予定：10月12日・場所：東京大学弥生講堂)

・会員を対象とした情報交換会、見学会の開催

・会員や農業電化シンポジウム参加者へのメールマガジン送付等とともに、全国の農業関連団体・企業、農業高校、農業大学、農電功労者等を対象に加入を勧奨

(2) 国の補助事業へ積極的に参加する事を目指し、当協会がこれまで蓄積したノウハウやスキルを活かすことで農林水産業の発展に尽力するとともに、収益の拡大を図る。

4. 広報出版活動

(1) 機関誌「農業電化」の発行

機関誌編集委員会 (3 回開催/年) の検討による編集企画に基づき、各地域における採用事例を多く掲載する等、内容の充実とともに読者の参考になる読みやすい記事の掲載を念頭に発行する。 (隔月発行：奇数月)

また、農業電化研究会における各地区の研究成果の集約版「農業電化特集号」を発行する。(発行予定：11月)

(2) 協会ホームページの活用

ホームページを最大限活用し、情報発信等で会員サービスの充実を図るとともに出版物販売の拡大を目的とした PR も積極的に行う。

(3) 農業電化に関する新たな技術システムに関する書籍の作成
ニーズを踏まえ、作成を検討する。

(4) 各種行事への協賛

各地区内で開催されるイベント等への出展および関連団体主催の展示会、シンポジウム等への協賛等を通じて農業電化の普及促進をはかる。

- ・ G P E C 2 0 1 8 (平成30年 7月)
- ・ 農業ワールド2018 (平成30年10月)
- ・ 農林水産祭 (平成30年11月)
- ・ アグロイノベーション2018 (平成30年11月)
- ・ 日本生物環境工学会シンポジウム (平成31年 1月頃)
- ・ 施設園芸新技術セミナー (平成31年 2月頃)

以 上